

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [経営全般](#) | [貸借対照表](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)

貸借対照表

借方		貸方	
資産の部	流動資産	当座資産 (現金および預金・ 受取手形・売掛金 短期有価証券など)	流動負債 (支払手形・買掛金・未払金 短期借入金など)
		棚卸資産	固定負債 (社債・長期借入金 退職給付引当金など)
		固定資産 (有価固定資産・無形固定資産 投資その他の投資)	資本金
		繰延資産	資本剰余金・利益剰余金など
		負債の部	他人資本
		資本の部	自己資本
			総資本

← 資金の用途状況を表示 → 資金の調達源泉を表示

貸借対照表では会社の財政状態をみることができます。
借方にある「資産」は読んで字のごとく、会社の財産を表します。
決算日時点で会社がどのような財産を保有しているのかがわかります。

貸方の「負債」は会社の債務を表します。
買掛金などの営業上発生した債務のほか、借入金や社債など、資金調達の手段を知ることができます。
貸方のもうひとつ「資本」は会社の出資者持分を表します。
具体的には、会社設立時に元手として支出した「資本金」等のほか、その後獲得された利益などにより構成されます。

これらの貸借の項目を関連付けて読み解くと、貸借対照表は会社の資金調達の方法とその用途がわかるということもできます。

つまり、貸方の「負債」および「資本」により、外部の第三者からの資金調達（負債）の状況と、株主の立場で言う元手（資本）が把握され、それがどのように使用されているのかが「資産」によりわかるというわけです。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>> 一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.